

令和2年度決算の完了事業と評価

令和2年度の一般会計及び特別会計の総計決算額は、歳入115億6330万円、歳出111億815万円です。上水道事業会計は、収益的支出2億6602万円、資本的支出5922万円、合計3億2524万円です。

完了事業

キッズゾーンの設置 341万円

交通安全事業において、村単独事業により保育園、こども園及び幼稚園周辺の園外活動を行うエリアにキッズゾーンを設置しました。
(小型標識16カ所・道路標識27カ所)



完了事業

歩道改修工事 4701万円

社会資本整備総合交付金を活用し、長谷津・つつじヶ丘線をバリアフリー化するため、歩道等を整備しました。



完了事業

中学校講堂特定天井等 改修工事 9372万円

榛東中学校講堂の照明器具のLED化と吊り天井の改修工事を実施しました。



完了事業

北部保育園の園舎増築 2043万円

待機児童対策として、園児の定員を15人増やすため、榛東北部保育園の増築工事に、国及び村から補助金を支出しました。



監査委員の評価

村税の収入率は、98.45%と前年度より1.41%上昇し、平成26年度以降上昇を続けています。また、村長から送付を受けた決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められ評価します。

議会も評価

村税の収入率98.45%

税収入は税務課による適正課税と効率的かつ効果的な滞納整理により、前年度と比較して収入未済額が縮減し、収入率は大幅に向上しています。滞納整理の進捗度、徴収人員等の現状を踏まえると、当年度以上の収入未済額の縮減と収入率の向上は容易ではないと考えることから、今後はその維持に取り組んでほしい。



いわさきただお
岩崎唯雄代表監査委員

審査意見

令和2年度においては適切に財政運営が行われ、財政状況は健全に維持されています。投資的事業については、老朽化に伴う施設改修及び配水管布設替えの実施は今後も不可避であり、投資的事業が増加していくことが予想されます。これからの事業を実施するためには多額の費用を要することから、計画的かつ効果的な執行に取り組んでいただきたいです。

村のお財布

	令和元年度末	令和2年度末
村の借金 (村債)	60億2471万円	58億90万円 前年度比▲2億2381万円
村の貯金 (基金)	53億737万円	54億3145万円 前年度比 1億2408万円

※金額は、1万円未満切り捨てで表示しています。
※水道企業会計は除く